

2022 年 8 月 19 日

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会
8 月 幹事会議事録

四日市コンビナート協力会社
災害防止協議会等連絡協議会



開催日時 令和 4 年 8 月 19 日 10:00～
場 所 三浜文化会館 会議室
出席者 会 長 岩野
副会長 原岡、萩野
幹 事 佐藤、満仲、吉松、山本
監督署 水谷安全衛生課長
事務局 伴野 、 オブザーバー 山口、服部

議 事

1. 事業報告 (令和 4 年 6 月以降)

6 月 21 日	2022 年度総会 書面表決により全議案可決
6 月 21 日～	事故事例集(第 41 集)関係先に配布
7 月 13 日	安全管理講習会(KYT)受講 10 名
8 月 4 日	第 1 回教育部会

2. 特別研修講演会について

特別研修講演会について協議し、以下を決定した。

講演会は、講師のみが発声するので、比較的安全な会合であり、現時点では、実施することと進める。

① 定員

第 3 ホールの定員は、120 名であり、声を出す活動がなければ、実施人数に制限はない。声を出す活動では、定員の半数以下での実施が求められている。

第 3 ホール定員の半数程度の 60 名以下を目標として実施する。

② 実施(中止)の判断基準

10 月以降 11 月 10 日の当日までに三重県に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置または、三重県独自の【緊急警戒宣言】等が発出されている場合は、講演会は中止とする。

③ 講演会時間配分と題目

講演題目は、９月末までに、事務局に連絡を頂くことになった。

(ア) 東ソー安全協議会 : 25 分

東ソー安全協議会で調整

(イ) 三重産業保健総合支援センター : 50 分

パワーハラスメント対策、アンガーマネジメントを中心に演題構成をお願いする。

(ウ) 四日市労働基準監督署 : 50 分

法改正関係（科学物質、溶接ヒューム、石綿など）、
監督署からの伝達事項、労災の発生状況、エイジフレンドリーなどを中心に構成を頂く

④ 講演時間

全体で 2 時間 20 分程度を講演時間とする。おおよその時間配分は以下のとおり

13 : 20 開演

13 : 20-13 : 35 会長、監督署長挨拶

13 : 35-14 : 00 東ソー安全協議会 講演

14 : 00-14 : 50 三重産業保健総合支援センター 講演

14 : 50-15 : 40 四日市労働基準監督署

3. 優良施設見学会について

旅行会社担当者へのヒアリングでは、学校の修学旅行、自治会の旅行などが動き始めているが、四日市もコンビナート関係では、秋に研修旅行を実施する団体はない状況である。

年間行事計画で予算化してあるが、現在の新型コロナウイルス感染状況を基準として、実施の可否について幹事の意見を聴取の結果、11 月の優良施設見学会は中止すべきであるとの結論に至った。

予算年度の来年 5 月までに収束すれば、来年実施を再度検討することも選択肢の一つであるとの意見があった。

4. 水谷安全衛生課長からのご指導

水谷課長より以下のご指導があった。

① 令和 4 年 労働災害発生状況（7 月末現在）

昨年より休業 4 日以上の方災がコロナ関連を除いて 84 件増えている。製造業が+20 名、建設業は-10 名、第三次産業等が+57 名である。

事故の型では、転倒が多く、次いで墜落・転落、無理な動作・動作の反動、はさまれ・まきこまれの順となっている。

② 職場での熱中症による死亡災害（全国 7 月まで）

令和 4 年は、6 月死亡件数が 118 件と過去 4 年比で突出して多くなっている。

その他、熱中症防止のリーフレットについて説明があった。

③ 2023 年 4 月 1 日からの法改正

危険有害な作業を行う事業者に対して、一人親方に対する措置の義務化および同じ作業場所にいる労働者以外の人に対する措置の義務化について説明があった。

④ 第 73 回全国労働衛生週間

全国労働衛生週間について、厚労省と三重労働局のリーフレットの紹介があった。

5. その他

➤ 会長より

公益財団法人三重県産業支援センターが企画した、コンビナートプラント運営人材育成支援事業防で化学 工業及びその関連産業向けの講座の受講案内があり、7 月 27 日連絡協の各協議会に受講案内を配信しています。

8 月 22 日に主催者より、直接説明を聞いた後に再度受講案内を出しますが、タイトルを見ると興味深い項目がありますので受講をお勧め致します。

以上